

ガイドラインの曳網方法の概要図



船舶のイメージ図

① 風速: **5m/s以下**

① 波高: **0.5m 以下**
① ビューフオート
スケール: **3以下**

① 海況:
できるだけ穏やか

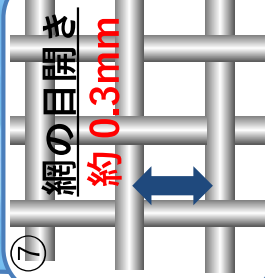
② 曳波の影響がない
ように船から離す

船舶

④ 船速:
1~3ノット
※小型船舶の場合
は1~2ノット

⑤ 曳網時間:
約 20 分

③ 曳網面積: **約1,000 m²**
(200-500 m³の
濾水量に相当)



⑦ 網の目開き
約 0.3mm

コッドエンド



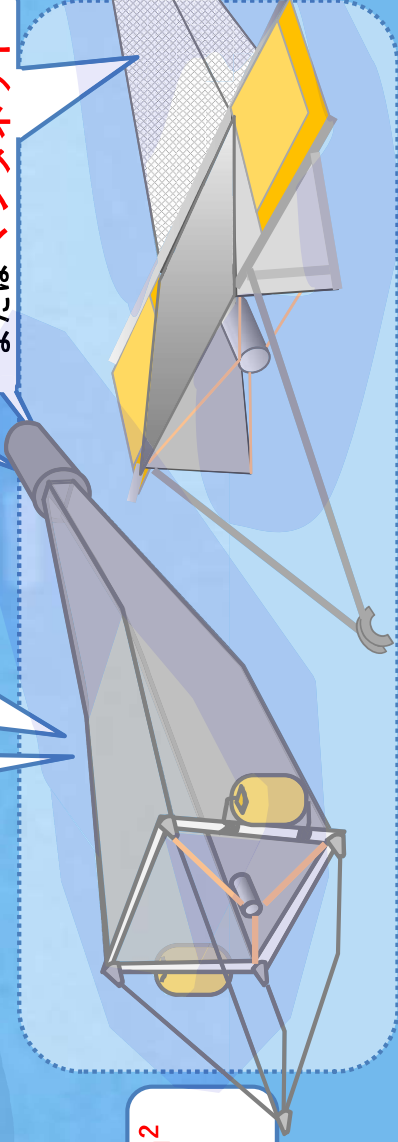
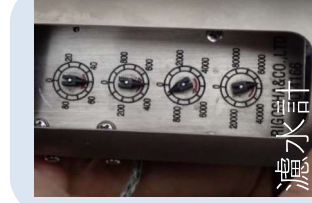
⑧ ネットの種類:
ニューストンネット
または **マンタネット**

濾水計のついた
ニューストンネット



⑥

濾水計のついた
マンタネット



⑨ 高濃度の天然由来の粒子や生物などが多くある場合などの好ましくないタイミングと条件を避けてサンプリングを行う



海藻・海草等



流れ藻が濾水計に絡まる



クラゲ

⑩

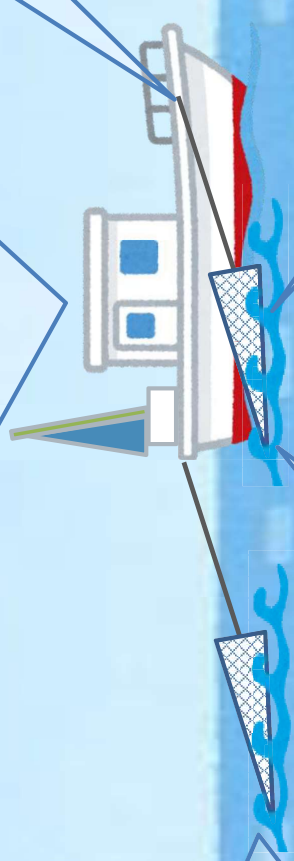


調査に使用するネットのうち、
の1つでブランクテストを実施する

船尾での曳網



⑪

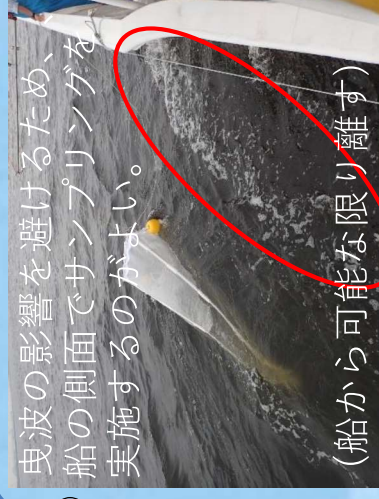


舷側での曳網



沈水深を可能な限り一定に保つことが重要

⑫



曳波の影響を避けるため、
船の側面でサンプリングを
実施するのがよい。
(船から可能な限り離す)



採取試料



マイクロプラスチック